

てんびんガイド だより



近江八幡観光ボランティア
ガイド協会 広報部
TEL : 0748-33-6061
FAX : 0748-32-4125
近江八幡駅北口観光案内所内
HP: <http://www.oumi8guide.com>



村雲の御所瑞龍寺門跡 宅間珠光日郁様よりの投稿

この度、むらくもごしよすいりゆうじもんぜき村雲御所瑞龍寺門跡 第十六世を継承させていただきました
たくまじゆこうにおゆう詫間珠光日郁でございます。このご縁を全身全霊で受けとめさせていただきます
所存でございます。

本年五月二十二日に宮内庁、近江八幡市長はじめ滋賀県各議員、日蓮宗僧侶、有縁の皆様方にご臨席を賜り晋山式を盛大に執り行うことができました。式の模様は、日蓮宗新聞をはじめ、仏教系新聞、地元のテレビ・新聞等マスコミ各社にもご紹介いただきました。

このお寺は、日蓮宗唯一の門跡由緒寺院です。開山は瑞龍寺殿妙慧日秀尼公様、太閤豊臣秀吉公の姉で、関白豊臣秀次公、岐阜宰相秀勝公、大和中納言秀保公の生母であります。秀次公が高野山で割腹、秀勝公が朝鮮出兵で戦病死するなど非業の最期を遂げられました。わが子の菩提を弔うために出家なされ、1596年に後陽成天皇から嵯峨村雲の地と瑞龍寺の寺号、また紫衣の着用と菊の御紋使用が許されました。別名を村雲御所と称して、代々、皇女や公家の娘がむまきしんげき尼門跡を継承してまいりました。

昭和三十六年にこの近江八幡山頂に移築されましたが、無住の時代が続き、台風等によって建物が破損、荒廃が著しい状態でした。十二世日英尼公様が入られ復興したものの、六十年近くの歳月を経て再び荒廃していました。

晋山を機に、長年の廃棄物を処分し、境内堂宇の修復修繕に努め、中庭、舞台、回廊の壁画作成等、一新いたしました。

近江八幡市民の拠り所となり、名所となれるよう、また地域に貢献できるお寺であるよう邁進してまいります。

是非にも御参拝いただき、一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。



八幡堀まつりに紙芝居を上演

～街並みと灯り～

10月22・23日の両夕方より第25回八幡掘り祭が開催されました。

新町通り・八幡掘り周辺・日牟礼八幡宮参道等にLEDやろうそくが灯され昼間とは違った幻想的な景色がひろがりました。やわらかな灯りが八幡掘りの水に映えてその美しいことったら・・・。

私たちが旧伴家で紙芝居を上演させていただきました。演目は沖島に伝わる“白さぎ物語” 八日市の昔話“名前を変えた小僧さん” “秀次さんと近江八幡”の子供バージョン、そして初お披露目の 中ノ庄に伝わる“朝日の名号”の4作を約1時間半上演しました。

両日とも5時頃より道行く人々にチラシを配り手分けして宣伝しました。

お客さまは2日間で延べ210名、来てくださいました。帰られるお客様から「良かったよ」「ありがとう」と声をかけられると本当にうれしいものです。

今後もより楽しんでいただけるよう演者の私たちも一層精進していきます。

地域の皆さままでこの紙芝居を見てみたいとお思いの方はぜひ観光ガイド協会にお問い合わせ下さいませ。お待ちしております。

最後にこの二日間ご協力いただいたチームの皆さま本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。



紙芝居チーム 松村道子





2022年度『八幡堀まつり』用竹ボール作りに参加して

坂倉直人

8月20日 白雲館二階にて近江八幡観光物産協会の呼び掛けを請け小島可奈子事業運営部長の呼び掛けにボランティアガイド協会から10名が参加致しました。

総員20名 竹籤から組み合わせ編み込んで球体作り 行灯を苦心惨憺して完成させました。

竹松商店の片山様・中谷様に御指導を戴き初めての面白い体験をし、思い出に残りました。

今回一番感じた事は手順の判らない事には1時間以上掛けましたが2度目は30分3度目は20分と完成作品も綺麗に上がるのでは?と感じて居ります。

次回は皆様も挑戦して下さい。



《穀屋尼寺御本尊御開帳のお参り》 川村節子

8月23日、穀屋尼寺のご本尊、聖徳太子像が御開帳となり、お参りさせて頂きました。長命寺の麓のお寺ですが、恥ずかしながらこれまで長命寺お参りの際に車で通りながらも名前すら知らずにいたお寺です。

太子像の御前には地藏盆に合わせてお地藏様もおそろいになり、どこか懐かしく愛らしい雰囲気の中お参りさせて頂きました。ご住職からここが長命寺再建修理資金を募る勧進を担当したお寺だった事や初代住職の松村慈詮の名の由来について等教わりました。また百万遍の数珠繰りに使う百五十年前から伝わる大数珠なども拝見させて頂きました。さらに熊野歎心十界曼荼羅のパネルに目を向けている際、先輩ガイドお二人より解説して頂き、ガイドのお手本を学ばせて頂きました。

穀屋尼寺を含め長命寺についてさらに学びを深めたいなという気持ちになり、数日後、同期の潤子さんと初めて麓から八百八段の石段を登り長命寺へ参拝させて頂きました。



《願成就寺研修会にて》

8月22日、聖徳太子1400年遠忌を迎える願成就寺研修に参加しました。

冠木門を潜り78段を上がり天台宗願成就寺の本堂の前に16名の参加者が集合しました。

小西智俊住職様のご案内で天台宗は観音様が多いとの事。

言い伝えによると、近江に48ヶ寺を建立した聖徳太子が最後にこの寺を建てたとされ、願いが成就したことにより願成就寺と寺名になったとされます。御本尊は 十一面観音立像で聖徳太子作と伝わる榎木から彫りだされた霊造・秘仏。(国指定重要文化財) 聖徳太子が48社の社寺建立の誓願い建てられたことに因み、秘仏の扱いは49年に一度の御開帳であるが、長すぎる為、中開帳として25年に一度の開帳になっている。(前回の開帳平成29年に開帳) 阿弥陀如来・四天王像・聖徳太子幼形像等と護摩堂(不動堂) 五大明王立像等を案内していただきました。家内安全・健康祈願の為に御朱印をいただきました。

小西智俊住職様、変ご丁寧な説明、お世話になりました。



広報部 中村 保

<ガイドさんの趣味のコーナー>

私の楽しみママチャリ自転車について

野口正和

私には長続きした趣味がありません。現役時代のストレス解消はゴルフとテニスだけでしたので、退職後にはいろいろやってみようと思っていました。平成20年(2008)3月の退職頃から始めたものには、茶道、太極拳、ヨガ、能の鑑賞、謡、詩吟、水泳、スキューバダイビング、竹灯籠作り、南京玉すだれ、水彩画、囲碁、坐禅、サイクリング、手品、俳句などがありました。つきあいから仕方なく始めたものもありますが、熱しやすく冷めやすい性格なので長続きしません。今も続けているのは、その半分以下で、今回はママチャリ自転車旅行について紹介させていただきます。

私は60歳で退職後、最初の職場の同僚と定期的に飲み会をしていたときに、自転車でびわ湖を80周程している人の話を聞いていて、びわ湖をぐるぐる回ることのどこが面白いのか、自分も一度試しにやってみようと思ったことと、2011年に33歳で病死した長男が乗っていた自転車があり、この自転車で回れば子どもの供養にもなるかなと思いました。

自転車旅行のためには、今までしたことのないパンク修理の仕方を覚え、日頃から自動車より自転車に乗るように心がけました。更に約200kmのびわ湖一周に体力的に耐えられるか、試しに荒神山まで遠出をしたりして準備をし、尻は痛くなるが行けるだろうと判断して、2012年5月に、ほぼ中間点の今津で宿泊して2日かけて回りました。自転車道路マップを見ながら走りましたが、道を間違えたり、交通量の多い方の道を走ってしまったり、車道を走っているとトラックが自転車の脇すれすれに通過してヒヤッしたり、タイヤが側溝の金属蓋で滑り前方に投げ出されて手足に擦り傷を負ったりしました。

しかし、琵琶湖の雄大さと様々な景色に触れて気分は爽快になるし、湖岸道路付近に住む先輩や友人に出会えることができ、これはなかなか楽しいことだとわかり、翌年から毎年2回程一周するようになりました。当時は、県外を自転車で走るなどとは全く考えたこともありませんでしたが、いくつかの動機が重なり九州一周をすることになりました。一つは仲間と自転車で台湾一周をした人の新聞記事を読んで自分もしてみたいと思いましたが、いきなり台湾一周は無理なので、ほぼ同じ広さの九州を回ろうと思ったことと、九州には行きたかった所がたくさんあり、元気なうちに行こうという気になったためです。この九州一周は2017年5月に実現できました。この体験によって、高齢者でも、ママチャリ自転車でも、背伸びをせずマイペースで実行したらできるという、自信めいたものが芽生えました。

九州一周の後、北陸東北関東東海周遊を2017年9月に、北海道一周を2018年6月に、山陰山陽、紀伊半島周遊を2018年10月に、この時はついでに、隠岐の島に渡り、しまなみ海道を往復し、淡路島を一周しました。そして台湾一周を2019年11月に実現しました。

まだまだ行きたいところがありますが、その後は残念ながら新型コロナ感染拡大のため、また、妻の健康状況から、身動きが取れない状態です。

<報告です>

為心町元の琵琶パール「天然石のベル・クレール」様が、【近江八幡観光ボランティアガイド協会】の賛助会員になっていただきました。



<知ったクコーナー>

湖東流紋岩と日牟禮八幡宮

日牟禮八幡宮本殿の裏に回ると、角が尖った細長い同じ大きさの直方体の岩(柱状節理)が見られることにご存じでしょうか。

この岩が、日牟禮八幡宮のご神体を1000年以上も風化することなく護っていたと考え、この岩の持つパワーはすごいかもしれません。

この岩は地質学では「流紋岩(りゅうもんがん)」と言います。

流紋岩にもいろいろな種類がありますが、八幡山、岡山、安土山、雪野山、織山、箕作山、荒神山など、湖東地方の山々で見られ、これらを「湖東流紋岩」と呼んでいます。

この「湖東流紋岩」は、「滋賀県の石」として日本地質学会によって認定されています。長命寺山と沖島では、山頂から南半分が湖東流紋岩です。

ある学説では、これらの山が取り囲む湖東平野が約7000万年前には火山活動に伴って出来たカルデラという盆地であったとも言われています。

つまり、九州の阿蘇山にも匹敵するほどの大カルデラがあり、大火砕流をともなったはげしい火山活動をおこしていた時代があったとも考えられています。

※柱状節理：火山から流れ出した溶岩やマグマが浅い場所で冷え固まって、全体が縮む時に、4角形や5角形・6角形の規則正しい柱状の割れ目のこと

流紋岩は、マグマが冷えて固まった「火成岩」というカテゴリに入り、火成岩にも多くの種類がありますが、今回「湖東流紋岩」に関係のある典型的な種類を3つ挙げます。

「流紋岩」は、マグマが浅い(地下 数100m)地中で冷えて固まったもの

「花崗岩」は、マグマが深い(地下 数km)地中で数十万年～数百年かけてゆっくり冷えて固まったもの…湖東地方では、流紋岩が出る南側の竜王・鏡山付近では花崗岩が現れています。

「石英斑岩」「花崗斑岩」は、流紋岩と花崗岩との中間のもの…沖島で採掘され石材業に寄与していた岩石が「石英斑岩」です。

さて、「流紋岩」と「花崗岩」とでは、花崗岩の方が風化しやすいと言われています。

いずれも石垣や石造物などの石材として適した優れた石ですが、石屋さんによると、「花崗岩の灯籠は千年もつが、湖東流紋岩は優に二千年はもつ」とも言われているそうです。

湖東流紋岩がなぜもつのか、それは生成後に地熱で再溶結して堅くなったからです。

地質学ではこれを「溶結凝灰岩」と言っています。

八幡山の例で見ると、山頂の「二の丸」と「出丸」の間は崩れやすく、花崗岩に近い流紋岩でできているようです。日牟禮八幡宮の裏側などでは溶結凝灰岩ともいえる堅い流紋岩になっています。

関ヶ原の戦い後に築かれた彦根城では、彦根山が「チャート」という、極めて堅いが風化するとろく崩れやすい堆積岩でできているので、その石垣はすべてよその山の「湖東流紋岩」を運び込んで作られました。

※チャート：[放散虫](#)・[海綿動物](#)(海の中の生物)などの動物の殻や骨片(微化石)が[海底](#)に[堆積](#)してできた[岩石](#)。

チャートでできた山としては、彦根山の隣の佐和山や近江富士で有名な三上山もあります。

「湖東流紋岩」で結ぶ広域ガイド又は地域連携リレーガイドができると面白いと思いますが、いかがでしょうか。

後記) 岩石には多種多様な種類があり、色や性質は千差万別です。また、岩石の種類判定は専門家でも難しいと言われています。上記湖東流紋岩の内容についても大まかな概要に留めています。

さらに詳しい内容については、地質学にお詳しい山本潔さんにお問い合わせください。